

糖尿病

糖尿病内分泌内科 山本 恒彦

糖尿病とは？

血液中にブドウ糖がたくさんあふれた状態(高血糖)が慢性的に続く状態を言います。その原因は、インスリンの出方が悪い(インスリン分泌不全)かインスリンは十分出ているがその効き具合がよくない(インスリン抵抗性)ですが、多くの患者さんではその両方が複雑にからみ合っています。

治療法

何と言っても、最も重要かつ優先すべきは食事療法です。次に運動療法、そして最後に薬物療法です。たとえ良い薬が出たとしても、食事療法をきちんと守ることができなければ、その効果は半減しますし、長続きしません。

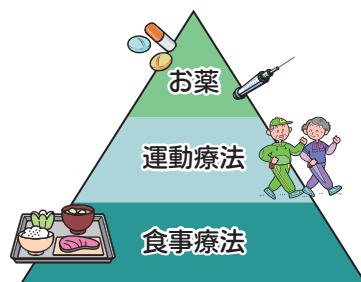
薬物治療

ここ数年で糖尿病領域における薬物治療は大変進歩しました。これまでの内服薬は、主に膵臓からのインスリンの分泌を促す薬とインスリンの効き具合を高める薬など合わせて6種類ありました。2014年4月、糖を尿から排泄する「SGLT-2阻害薬」というこれまでにない画期的な内服薬が登場しました。

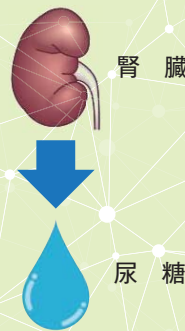
SGLT-2 阻害薬の特徴

「SGLT-2」とは、腎臓で尿から排泄される糖をもう一度汲み取るために必要な蛋白で、「SGLT-2阻害薬」という内服薬は、SGLT-2という蛋白の作用を抑えることで1日に約80gもの糖を尿から排泄することを促します。これにより、血糖値が下がるだけでなく、体重の減量、血圧の低下、尿酸値の低下、心臓・腎臓・膵臓への保護効果など多岐にわたる効果が証明されつつあります。ただし、このお薬は1型糖尿病の方に有効とされており、ご高齢の方、サルコペニア(筋肉量が少ない)の方、極端な炭水化物の摂取制限を行っておられる方、腎臓が悪い方には不向きと考えられます。

糖尿病治療の基本



SGLT-2 阻害薬の作用



SGLT-2阻害薬 5つのDown!

- ・血糖値Down
- ・体重Down
- ・血圧Down
- ・尿酸値Down
- ・低血糖のリスクDown

最後に・・・「一病息災」

糖尿病をもちながらも、元気で楽しい人生を謳歌して下さい！そのために私たちは全力でお手伝いさせていただきます！



SGLT-2阻害薬の服用にあたって留意すべきこと

- ・排尿が増すので、1日当たり水500ml程度多く摂ること
- ・食欲が増すことがあるので、食事制限が必要
- ・運動により筋肉量の減少を最小限にする
- ・すでに利尿剤を服用している方は、時に減量が必要
- ・シックデイ(他の病気にかかった時)では必ず中止すること

関西ろうさい病院の理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。

イメージキャラクター
かんろっこ

関西ろうさい病院 広報誌

さぶりめんと

2018-Jun.

No.45

安全で快適なお産を目指して

助産師 澁下 園

■ 当院のお産の体制について

当院の産婦人科は「すべての女性が安心して、幸せな妊娠・出産・育児ができること」を目標に「出産後のお母さんが1人の女性として大切にされること」、「母児同室を行うことで、新生児が常に母親のそばで愛情あふれた言葉やぬくもりを感じながら育てられること」、「母子が家族の中で受け入れられ、支えられること」を考え、医師・助産師が協力し、常に安全性や快適さを追求しながら、治療・ケアの提供を行っています。また、緊急帝王切開は24時間365日対応しており、すべての分娩に新生児蘇生法(NCPR)を習得した医療スタッフが立ち会える体制の整備や他の診療科との連携体制の構築など、総合病院の利点を活かした安全対策を講じています。今回は、当院の環境面・サービス面に関してご紹介いたします。



■ 快適なお産のための工夫

お産の時は、産婦さんの希望や状態により、3タイプのお部屋を準備しています。

■ 分娩室

ハイリスク分娩や無痛分娩の場合に利用します。エコーや電気メスなど医療機器を設置し、急変時に対応できるようにしています。



←分娩室

■ LDR

大部分の産婦さんが利用します、陣痛(Labor)分娩(Delivery)回復(Recovery)を同じ場所で過ごしていただくことができ、陣痛開始から分娩・産後まで、ゆったりとした個室でご家族と一緒に過ごしていただけるようになっています。経産婦さんの場合は、上のお子さんも一緒に過ごしていただけます。



LDR→

■ バースルーム

院内助産の場合に利用します。できるだけ自然なお産ができるように落ち着いた造りになっています。LDRと同じく、個室になっていますので、ご家族でゆっくりと過ごしていただけます。



←バースルーム

お産後のお部屋も4人部屋・個室から選択していただけます。また、母児同室を行うため、4人部屋・個室ともに、24時間365日、室温管理を行っています。その他にも入院中は、産後の体力回復を促すために当院1階のレストラン『花みず木』特製のお食事を提供したり、授乳室には、ウォーターサーバーを設置し、授乳中でも安心して飲んでいただけるハーブティーやタンポポコーヒー(血液循環を良くし、乳汁分泌が増加すると言われています)を準備しています。



妊産婦さんのニーズの多様化に伴い、産科領域に求められるものは、日々、変化を続けております。当院では医師・助産師一丸となって、妊産婦さんのニーズに可能な限り応えつつ、安全で快適な環境を提供できるように努力して参ります。